

五巻本『庸言知旨』校注(10)

竹越 孝

(承前)

10 juwanci fiyelen

第十 章

第十章<sup>1</sup>(三/十 1a1)

10-1-1 gerendere ging foriha bicibe.

明けの 鐘 叩いた けれども

雖交了亮鐘了<sup>2</sup>(三/十 1a2)

10-1-2 abka uldere unde.

空 明るくなって いない

天還沒見<sup>3</sup>亮兒<sup>4</sup>呢(三/十 1a2)

10-1-3 jing ele mila jirgame ergeci ojoro erin.

正に のん びりと 安逸に 休むこと できる 時

正可儘量兒受用舒<sup>5</sup>服的時候(三/十 1a2-3)

10-1-4 heni baita akū de.

少しも 用事 ないので

一点事兒没有(三/十 1a3)

10-1-5 majige goidame deduci.

少し 長く 寝れば

畧多睡<sup>6</sup>會兒(三/十 1a3)

10-1-6 icangga akūn.

気持ち良く ないか

不舒服麼(三/十 1a4)

---

<sup>1</sup> 第十章：刊本では第六章(ningguci fiyelen)にあたる。辛卯本はこの漢訳を欠く。

<sup>2</sup> 了：刊本はこの一字を欠く。

<sup>3</sup> 没見：刊本は「没」に作る。辛卯本は「不見」に作る。

<sup>4</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>5</sup> 舒：五巻本はこの一字を欠く。

<sup>6</sup> 睡：辛卯本はこの後に「一」を有する。

- 10-1-7 uttu erde baibisaka iliki serengge.  
 こんな 早朝 故なく 起きよう と思うこと  
 這們早平白的要起來 (三/十 1a4)
- 10-1-8 murakū<sup>7</sup> bade sui bairengge wakao..  
 何もない 所で 罪 探すこと でないか  
 可不是沒影兒的<sup>8</sup>找罪受<sup>9</sup>嗎 (三/十 1a4-5)
- 10-2-1 weri i jombuha be majige gaiha bici.  
 他人 が 注意したの を 少し 取って いれば  
 若把別人提白的聽一點兒 (三/十 1b1)
- 10-2-2 inu ede tuhenerakū bihe.  
 また ここで 倒れず にいた  
 也不至<sup>10</sup>跌在這個分兒來着<sup>11</sup> (三/十 1b1)
- 10-2-3 te narangi hūbin de dosifi.  
 今 結局 畏 に 入り  
 如今到底上了圈套<sup>12</sup> (三/十 1b1-2)
- 10-2-4 jobolon taha kai.  
 困苦 絡んだぞ  
 受了罪了 (三/十 1b2)
- 10-2-5 hojo.  
 思った通り  
 該啊<sup>13</sup> (三/十 1b2)
- 10-2-6 hūhuri wajifi usiha tuhekebi.  
 福 尽きて 星 落ちている  
 福分盡了掉<sup>14</sup>了造化了 (三/十 1b2-3)
- 10-2-7 tuwacina.  
 見るがよい

---

<sup>7</sup> murakū : 刊本は mujakū に作る。

<sup>8</sup> 的 : 刊本は「自己」に作る。

<sup>9</sup> 受 : 刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>10</sup> 至 : 刊本はこの後に「於」を有する。

<sup>11</sup> 來着 : 刊本はこの二字を欠く。

<sup>12</sup> 圈套 : 刊本は「套兒」に作る。

<sup>13</sup> 啊 : 辛卯本は「呀」に作る。

<sup>14</sup> 掉 : 刊本は「吊」に作る。

- 看罷咱 (三/十 1b3)
- 10-2-8 bucerakū oci.  
死ななくても  
要不死 (三/十 1b3)
- 10-2-9 sukū inu emu jergi kobcimbi..  
皮も一層剥がれる  
也脱層皮 (三/十 1b3)
- 10-3-1 hūwa i dulimbade dukai ishun.  
中庭の 中で 門に 向かい  
在當院子迎着門<sup>15</sup> (三/十 1b4)
- 10-3-2 uthai etuku hemilefi narhūn edun tuwambi.  
すぐ衣服捲って 小 便 する  
就撻起衣裳來撒尿 (三/十 1b4-5)
- 10-3-3 sabufi sini ere ainara demun seci.  
見て君のこれどんな行動と言うと  
看見了說你這是什麼樣子 (三/十 1b5)
- 10-3-4 yertefi dere dukse nakū.  
恥じて 顔 赤くなる や否や  
羞了臉一紅 (三/十 1b5)
- 10-3-5 fudarame si mimbe ergelembio sembi..  
反対に君私を脅迫するかと言う  
反倒<sup>16</sup>說你押派着我麼 (三/十 2a1)
- 10-4-1 geren i emu songkoi leolecere be tuwaci.  
人々が一様に論じているのを見ると  
看衆人一口同音的議論<sup>17</sup> (三/十 2a2)
- 10-4-2 muru bifi dere.  
道理 あって だろう  
大盖<sup>18</sup>有模兒罷 (三/十 2a2)
- 10-4-3 akū oci. we ya šadara ba akū de šadame.  
でないならばどんな人疲れる所ないのに疲れ

<sup>15</sup> 在當院子迎着門：この一条は刊本では第八章第 21 条にあたる。

<sup>16</sup> 倒：刊本は「到」に作る。

<sup>17</sup> 看衆人一口同音的議論：この一条は刊本では第八章第 22 条にあたる。

<sup>18</sup> 盖：辛卯本は「概」に作る。

- 不然<sup>19</sup>那個<sup>20</sup>好模大樣<sup>21</sup>的（三/十 2a2-3）
- 10-4-4 baibi simbe canggi uttu tuttu sembi.  
ただ 君を のみ こうだ ああだ 言う  
偏把你説長道短的（三/十 2a3-4）
- 10-4-5 niyalma be sarkū okini seci.  
人 が 知らなく てよい と思うなら  
若要人不知（三/十 2a4）
- 10-4-6 beyei yaburakū de isirengge akū.  
自身が 行わないの に 近づくこと なく  
除非己莫為（三/十 2a4）
- 10-4-7 sini fangname faksalara be inu baiburakū.  
君が 詭弁 弄するの を また 用いない  
也不用你叫諍<sup>22</sup>分辨（三/十 2a5）
- 10-4-8 bici hala.  
あれば 改めよ  
有則改之（三/十 2a5）
- 10-4-9 akū seci hūsutuleme hachihiya..  
ない ならば 強いて 努めよ  
無則加勉（三/十 2a5-2b1）
- 10-5-1 banitai lafihyan bime.  
性格 無氣力 であって  
秉性慳包<sup>23</sup>（三/十 2b2）
- 10-5-2 hergime yabume sula banjime taciha.  
遊び 歩き 暇に 暮らすのに 慣れた  
而且游手好閒的慣了（三/十 2b2）
- 10-5-3 ebitele jefi.  
飽きるまで 食べて  
喫的飽飽<sup>24</sup>的（三/十 2b2-3）

<sup>19</sup> 不然：五卷本はこの二字を欠く。

<sup>20</sup> 那個：刊本は「誰」に作る。

<sup>21</sup> 様：刊本はこの後に「兒」を有する。

<sup>22</sup> 叫諍：刊本は「教正」に作る。辛卯本は「較争」に作る。

<sup>23</sup> 秉性慳包：この一条は刊本では第八章第 23 条にあたる。

<sup>24</sup> 飽：刊本はこの後に「兒」を有する。

- 10-5-4 baibi booi dolo nahan manggao ura manggao seme norome bici.  
 ただ 家の中で オンドル 硬いか 尻 硬いか と 留まっても  
 平白的在屋<sup>25</sup>裡捫着壓炕頭子 (三/十 2b3)
- 10-5-5 doro waka.  
 道理 でない  
 不是道理 (三/十 2b4)
- 10-5-6 si tucifi.  
 君 出て  
 你出去 (三/十 2b4)
- 10-5-7 tere akūnarakū acanarakū babe.  
 その 尽くさない 合わない 所を  
 把那不週不備的事兒 (三/十 2b4)
- 10-5-8 tuwancihiyame dasatame.  
 矯正して 整え  
 整理整理<sup>26</sup> (三/十 2b4-5)
- 10-5-9 majige gala bethe aššaci.  
 少し 手 脚 動かせば  
 手脚活動活動 (三/十 2b5)
- 10-5-10 jeke jeku inu singgambi seme.  
 食べた 食糧 も 消化する と  
 喫下去的飲食<sup>27</sup>也消化 (三/十 2b5)
- 10-5-11 lalanji šan ulime alaha.  
 くどくど 耳 引っ張り 告げた  
 再三再四的揪着耳朵告訴了<sup>28</sup> (三/十 3a1)
- 10-5-12 i donjici.  
 彼 聞いても  
 他要肯聽 (三/十 3a1)
- 10-5-13 tumen de akū baita..  
 万 一 ない 事  
 萬分也是没有的事 (三/十 3a1)

<sup>25</sup> 屋：刊本はこの後に「子」を有する。

<sup>26</sup> 整理整理：刊本は「整整」に作る。

<sup>27</sup> 飲食：刊本は「東西」に作る。

<sup>28</sup> 了：刊本はこの一字を欠く。

- 10-6-1 fisiku.  
のろま  
人眞蔽<sup>29</sup> (三/十 3a2)
- 10-6-2 niyaha yali de sube taha<sup>30</sup> adali.  
腐った 肉 に 筋 掛けた 様  
粘抓累墜 (三/十 3a2)
- 10-6-3 fišur seme ja de wacihiyafi sinde burakū.  
のろのろ と 容易 に 終わり 君に 与えない  
摸摸索索的輕容易不弄完了給你<sup>31</sup> (三/十 3a2-3)
- 10-6-4 tuttu bime ejesu geli juken.  
そうで あって 記憶 また 良くない  
而且忘心又<sup>32</sup>大 (三/十 3a3)
- 10-6-5 jaci ohode.  
とも すれば  
動不動兒的<sup>33</sup> (三/十 3a3)
- 10-6-6 baita be emu ergide maktafi.  
用事 を 一 方に 抛り  
把事撩<sup>34</sup>在一邊子 (三/十 3a4)
- 10-6-7 šuwe hiri onggombi.  
そのまま すっかり 忘れる  
直忘死了呢<sup>35</sup> (三/十 3a4)
- 10-6-8 inde ume afabure sartaburahū..  
彼に 決して 託すな 遅れないか  
別交<sup>36</sup>給他看就悞了<sup>37</sup> (三/十 3a4-5)

---

<sup>29</sup> 人眞蔽：この一条は刊本では第八章第 24 条にあたる。

<sup>30</sup> taha：刊本は daha に作る。

<sup>31</sup> 輕容易不弄完了給你：刊本は「輕容易不給你弄完了」に作る。辛卯本は「不容易弄完了給你」に作る。

<sup>32</sup> 又：刊本は「太」に作る。

<sup>33</sup> 兒的：刊本は「的」を欠く。辛卯本は「兒」を欠く。

<sup>34</sup> 撩：辛卯本は「撿」に作る。

<sup>35</sup> 死了呢：刊本は「了」に作る。辛卯本は「了」を欠く。

<sup>36</sup> 交：刊本は「教」に作る。

<sup>37</sup> 了：辛卯本はこの一字を欠く。

- 10-7-1 **tuttu oci.**  
 その様 ならば  
 若是那們着 (三/十 3b1)
- 10-7-2 **cilire turgunde jetere be waliyambi sehengge kai.**  
 喉に詰まる ので 食べるの を 止める と 言ったもの だぞ  
 可謂因噎廢食了 (三/十 3b1)
- 10-7-3 **neneme turgun be dokolome tacibu manggi.** 註詳補彙<sup>38</sup>  
 まず 原因 を かい摘んで 教えた 後で  
 先把<sup>39</sup>情節明明白白的抄總兒教導了 (三/十 3b1-2)
- 10-7-4 **jai ere baita oyonggo. bi ilihai aliyame bi seme ala.**  
 また この 事 重要だ 私 立ったまま 待っていると 告げよ  
 再告訴這個<sup>40</sup>事要緊我立等着呢 (三/十 3b2-3)
- 10-7-5 **uttu afabuha manggi.**  
 この様に 託した 後で  
 這們交付了 (三/十 3b3)
- 10-7-6 **i udu lali hūdun wacihiyame muterakū bicibe.**  
 彼 たとえ さっさと 早く 終わらせること できなく ても  
 他雖不能麻利快結 (三/十 3b3-4)
- 10-7-7 **eicibe tookabure de isinarakū ombi..**  
 結局は 遅らせる に 至らなく なる  
 到底不至於悞 (三/十 3b4)
- 10-8-1 **facuhūn.**  
 乱れている  
 亂賬<sup>41</sup> (三/十 3b5)
- 10-8-2 **tondokon ekisaka bisirakū<sup>42</sup>.**  
 きちんと 静かで いない  
 總不安安静静的<sup>43</sup> (三/十 3b5)

<sup>38</sup> 註詳補彙：辛卯本はこの注を欠く。

<sup>39</sup> 把：刊本はこの後に「事」を有する。

<sup>40</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

<sup>41</sup> 賬：刊本は「張」に作る。辛卯本は「帳」に作る。

<sup>42</sup> bisirakū：刊本は terakū に作る。

<sup>43</sup> 的：刊本は「坐着」に作る。辛卯本はこの後に「有着」を有する。

- 10-8-3 beyei hanci bibuci.  
自分の 近くに 留めれば  
不<sup>44</sup>離左右 (三/十 3b5)
- 10-8-4 hono yebe.  
まだ ました  
還好些 (三/十 3b5)
- 10-8-5 majige aljabuci tetendere.  
少し 離れた からには  
要是畧<sup>45</sup>離開一會兒<sup>46</sup> (三/十 4a1)
- 10-8-6 dokdo dakda moniocilame.  
そわ そわ 猿の様にし  
跳跳躑躑的活猴是的<sup>47</sup> (三/十 4a1)
- 10-8-7 ubade cob<sup>48</sup> tubade jumbali.  
ここに ぽっかり そこに 突然  
這兒一<sup>49</sup>鑽那兒一<sup>50</sup>入 (三/十 4a1-2)
- 10-8-8 erebe nungnerakū oci.  
これを 邪魔しない ならば  
若不招這個 (三/十 4a2)
- 10-8-9 terebe necimbi.  
それを 挑発する  
就惹那個 (三/十 4a2)
- 10-8-10 ememu fonde.  
ある 時に  
一會兒<sup>51</sup>家 (三/十 4a2)
- 10-8-11 bejileme injeku arame yobo maktaha de.  
遠回しに 笑い話 して 冗談 言った ら

<sup>44</sup> 不：刊本はこの前に「若」を有する。

<sup>45</sup> 要是畧：刊本は「若」に作る。辛卯本は「是」を欠く。

<sup>46</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>47</sup> 是的：刊本・辛卯本は「兒」に作る。

<sup>48</sup> cob：刊本は tab に作る。

<sup>49</sup> 兒一：刊本はこの二字を欠く。辛卯本は「一」を欠く。

<sup>50</sup> 一：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>51</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。



- 打皮科兒<sup>52</sup>鬪笑兒鬪起跟<sup>53</sup>兒來 (三/十 4a2-3)
- 10-8-12 *simbe injebuhei duha muribumbi.*  
君を 笑わせて 腸 振らせる  
教你笑的肚腸子疼 (三/十 4a3)
- 10-8-13 *fuhali halai fudasi.*  
全くの ひねくれ 者  
太是個厭惡行子<sup>54</sup> (三/十 4a4)
- 10-8-14 *ai fayangga biheni.*  
何の 魂 あったか  
什麼托<sup>55</sup>生的呢 (三/十 4a4)
- 10-8-15 *hairakan niyalmai sukū.*  
惜しい 人の 皮  
可惜了的人皮 (三/十 4a4)
- 10-8-16 *ede<sup>56</sup> nerebufi.*  
これに 被せて  
教他披了 (三/十 4a4-5)
- 10-8-17 *inu niyalma sembi..*  
また 人 という  
也算是個人 (三/十 4a5)
- 10-9-1 *tere sebjen baita de dosika.*  
彼 楽しい 事 に入った  
他近了樂事兒了 (三/十 4b1)
- 10-9-2 *jing ciksika niyalma bime.*  
正に 壯年の 人 であって  
正是壯<sup>57</sup>年人鬪的 (三/十 4b1)
- 10-9-3 *cira biyabiyahūn.*  
顔 蒼白だ  
顔色煞白 (三/十 4b2)

---

<sup>52</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>53</sup> 跟：辛卯本は「根」に作る。

<sup>54</sup> 個厭惡行子：刊本・辛卯本は「乖張」に作る。

<sup>55</sup> 托：辛卯本は「拖」に作る。

<sup>56</sup> *ede*：刊本は*inde*に作る。

<sup>57</sup> 壯：刊本は「少」に作る。

- 10-9-4 **femen gemu šalibuhabi.**  
唇 みな 白くなっている  
嘴唇都没点<sup>58</sup>血色了<sup>59</sup> (三/十 4b2)
- 10-9-5 **aide dabafi simen gocimbuha ni.**  
何で 限度を越え 養分 抜かれた か  
打<sup>60</sup>什麼上受了傷没個火力兒了<sup>61</sup>呢 (三/十 4b2-3)
- 10-9-6 **ama eniye i jui banjihangge.**  
父 母 が 子 産んだこと  
父母生了兒子 (三/十 4b3)
- 10-9-7 **cohome enen sirabure jalin kai.**  
とりわけ 子孫 継がせる ため だぞ  
原為繼續後嗣啊 (三/十 4b3-4)
- 10-9-8 **jui oho niyalma.**  
子 となった 人  
為兒子的人 (三/十 4b4)
- 10-9-9 **ama eme be eldembume muterakū.**  
父 母 を 輝かせ られない  
不能光耀父母 (三/十 4b4)
- 10-9-10 **joo dere.**  
もうよい だろう  
也罷咧<sup>62</sup> (三/十 4b4-5)
- 10-9-11 **aika jukten<sup>63</sup> be lakcara de isibuci.**  
もしも 祭祀 を 断ち切る に 至れば  
若弄到斷了香烟 (三/十 4b5)
- 10-9-12 **si teherebume bodo.**  
君 計って 考えよ  
你白戛戛戛戛<sup>64</sup> (三/十 4b5-5a1)

<sup>58</sup> 点：刊本はこの一字を欠く。

<sup>59</sup> 了：刊本はこの一字を欠く。

<sup>60</sup> 打：刊本は「従」に作る。

<sup>61</sup> 兒了：刊本は「了」を欠く。辛卯本は「兒」を欠く。

<sup>62</sup> 也罷咧：刊本・辛卯本は「罷咱的」に作る。

<sup>63</sup> jukten：刊本は jukteken に作る。

<sup>64</sup> 戛戛戛戛：刊本は「戛戛的」に作る。

- 10-9-13 bucehe seme ai weile tuhebuci acambi..  
 死んだとしても どんな 罪 擬する べきか  
 就死了<sup>65</sup>該得個什麼樣的罪兒<sup>66</sup> (三/十 5a1)
- 10-10-1 gūnin sofin mujilen taji.  
 考え 奔放 心 我儘  
 心野猴性 (三/十 5a2)
- 10-10-2 majige hono sula bisirakū.  
 少し ですら 暇で いない  
 一會兒閒不住 (三/十 5a2)
- 10-10-3 fejilen tulefi cecike taburakū<sup>67</sup> oci.  
 網 仕掛けて 雀 掛けない ならば  
 不<sup>68</sup>下套子套雀兒 (三/十 5a2-3)
- 10-10-4 uthai geji sindafi.  
 即ち 畏 置いて  
 就下夾子打 (三/十 5a3)
- 10-10-5 giyahūn cecike butambi.  
 鷹 不刺 捕える  
 鷹不刺兒 (三/十 5a3-4)
- 10-10-6 gaitai emke.  
 突然 一羽  
 忽然一個 (三/十 5a4)
- 10-10-7 horin i dolo dangdaka šekehe.  
 籠 の 中で 体を伸ばし 固まった  
 籠子裡直挺挺的倒了 (三/十 5a4)
- 10-10-8 baji tere emke. dobukū<sup>69</sup> ci lakdahūn i fasime tuheke.  
 少しして その 一羽 止まり木 から ぶらりと 倒れ 落ちた  
 一會兒那一個吊掛在架子下頭了 (三/十 5a4-5)
- 10-10-9 tede bi karu de karu.  
 そこで 私 報いに 報い

---

<sup>65</sup> 了：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>66</sup> 樣的罪兒：刊本は「樣的」を欠く。辛卯本は「兒」を欠く。

<sup>67</sup> taburakū：五卷本は daturakū に作る。

<sup>68</sup> 不：刊本はこの後に「是」を有する。

<sup>69</sup> dobukū：刊本・辛卯本は dobokū に作る。

那上頭我說有個善有善報（三/十 5a5）

10-10-10 furu de furu sehe gisun bikai.

悪 に 悪 と言った話 あるぞ

惡有惡報的話呢<sup>70</sup>呀（三/十 5b1）

10-10-11 uttu abkai<sup>71</sup> jaka be doksirame efuleme 見武成 geneci.

この様に 天の物に 乱暴し 壊して 行けば

這們様<sup>72</sup>暴殄天物去<sup>73</sup>（三/十 5b1-2）

10-10-12 sain karulan akū. ayoo seme.

良い 報い ない だろう と

只怕没有好報應（三/十 5b2）

10-10-13 mujakū targabume jombuha.

ひどく 戒め 注意した

着實的戒勸來着<sup>74</sup>（三/十 5b3）

10-10-14 i sinde donjici. aba<sup>75</sup>..

彼 君に 聞けば どこだ

他要<sup>76</sup>肯聽那兒呢（三/十 5b3）

10-11-1 i giyahūn cecike be. simhun de alifi.

彼 鷹 不刺 を 指 に 据えて

他把鷹不刺兒架在指頭上（三/十 5b4）

10-11-2 hahūrakū be fatame jafame.

首輪 を 摘んで 持ち

手捏着脖索兒（三/十 5b4-5）

10-11-3 gala be emgeri tukiye nakū.

手 を 一度 挙げる や否や

把手一聳（三/十 5b5）

10-11-4 giyahūn cecike mooi gargan de donaha.

鷹 不刺 木の 枝 に 停まった

---

<sup>70</sup> 呢：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>71</sup> abkai：刊本は abka i に分綴する。

<sup>72</sup> 様：刊本はこの一字を欠く。

<sup>73</sup> 去：刊本はこの一字を欠く。

<sup>74</sup> 來着：刊本はこの二字を欠く。

<sup>75</sup> aba：刊本は yaba に作る。

<sup>76</sup> 要：刊本は「若」に作る。

- 鷹不刺兒落在樹枝兒<sup>77</sup>上了 (三/十 5b5-6a1)
- 10-11-5 tere cecike i deberen sabufi.  
その雀の雛見て  
那小雀兒見了 (三/十 6a1)
- 10-11-6 ini eme be be butafi jihe aise seme.  
その母餌を捕えて来たのだろうと  
當是他的<sup>78</sup>娘打了<sup>79</sup>食來了 (三/十 6a1-2)
- 10-11-7 giyar gir debderjeme halanaha be.  
びよ びよ 羽ばたき 近づいたのを  
嘸兒喳兒的<sup>80</sup>擱着<sup>81</sup>翅兒就過去 (三/十 6a2)
- 10-11-8 giyahūn cecike emgeri saifi.  
鷹 不刺 一度 咬みつ  
鷹不刺兒一嘴咬住 (三/十 6a2-3)
- 10-11-9 ošoho i šoforo nakū.  
爪で 掴む や否や  
拿爪子抓着 (三/十 6a3)
- 10-11-10 par pir<sup>82</sup> sasari gūlame tuhenjihe.  
ばた ばた 一斉に 下りて 来た  
琶拉琶拉的<sup>83</sup>一齊滾下來了 (三/十 6a3)
- 10-11-11 i injere cirai tere cecike i asha be jafafi.  
彼 笑い 顔で その 雀 の 翼 を 持って  
他笑密嘻兒的把那雀兒的翅膀<sup>84</sup>拿起來 (三/十 6a4)
- 10-11-12 kūwar seme garmifi.  
ぶりっ と 割き  
夸叉的撕<sup>85</sup>了兩半兒<sup>86</sup> (三/十 6a4)

<sup>77</sup> 兒：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>78</sup> 的：刊本はこの一字を欠く。

<sup>79</sup> 了：刊本・辛卯本は「着」に作る。

<sup>80</sup> 的：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>81</sup> 着：刊本はこの一字を欠く。

<sup>82</sup> par pir：刊本・辛卯本は par par に作る。

<sup>83</sup> 的：刊本はこの一字を欠く。

<sup>84</sup> 膀：刊本は「脖」に作る。

<sup>85</sup> 撕：刊本は「拉」に作る。辛卯本は「扯」に作る。

10-11-13 uthai giyahūn cecike de ulebumbi.

すぐ 鷹 不刺 に 食べさせた  
就喂<sup>87</sup>鷹不刺兒 (三/十 6a5)

10-11-14 bi ibefi tuwaci.

私 進み出て 見ると  
我上前去<sup>88</sup>一瞧 (三/十 6a5)

10-11-15 absi kiriba.

何と 残忍だ  
好狠啊 (三/十 6a5)

10-11-16 tere cecike i niyaman.

その 雀 の 心臓  
那個<sup>89</sup>雀兒<sup>90</sup>的心 (三/十 6b1)

10-11-17 tuk tuk seme nakara unde bime.

トク トク と 停まっていな い でいて  
突啊突啊<sup>91</sup>的跳着未止 (三/十 6b1)

10-11-18 yali hono sersen sarsan gūwaššame bi.

肉 まだ びく びく 動いて いる  
連肉還秃酥秃酥的跳着<sup>92</sup>呢 (三/十 6b2)

10-11-19 tede bi yala tar seme mujilen dosorakū oho.

そこで 私 誠に ぎょつ と 心 耐えられな くな った  
那上頭我實在<sup>93</sup>心裡<sup>94</sup>咚的一下子受不得了 (三/十 6b2-3)

10-11-20 ere gese kiriba mujilen i giyan be efuleme.

この 様な 残忍な 心 で 理屈 を 壊し  
行這樣忍心害理 (三/十 6b3-4)

---

<sup>86</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>87</sup> 喂：刊本はこの後に「了」を有する。

<sup>88</sup> 去：刊本はこの一字を欠く。

<sup>89</sup> 個：刊本はこの一字を欠く。

<sup>90</sup> 兒：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>91</sup> 突啊突啊：刊本は「突突」に作る。

<sup>92</sup> 着：刊本はこの一字を欠く。

<sup>93</sup> 實在：刊本はこの二字を欠く。

<sup>94</sup> 裡：刊本は「内」に作る。

10-11-21 ergengge be wara weihun ningge be jocibure baita be yabuhangge.

生物 を 殺し 生きている もの を 害する 事 を 行ったこと  
殺生害命的事 (三/十 6b4-5)

10-11-22 cohome sui mai ararangge wakao..

特に 罪 作り なすこと でないか  
竟不是造業嗎<sup>95</sup> (三/十 6b5)

10-12-1 ini uju cukū.

彼が 頭 垂れるや  
見他低着头 (三/十 7a1)

10-12-2 cung cung casi genere be sabufi.

遮二 無二 あちらに 行くの を 見て  
一直的只管往那們去 (三/十 7a1)

10-12-3 ili seci.

待て と言うと  
教他站住呢 (三/十 7a1)

10-12-4 i bi jabdurakū.

彼 私 暇がない  
他說我不得閒<sup>96</sup> (三/十 7a2)

10-12-5 muse jai gisureki sefi.

我々 また 話そう と言って  
咱們再說 (三/十 7a2)

10-12-6 ekšeme saksime tere hūtung ni dolo dosika.

せか せかと その 胡同 の 中に入った  
慌慌忙忙的進了那個衚衕兒了<sup>97</sup> (三/十 7a2-3)

10-12-7 goidahakū. niyalmai ge ga sere jilgan be donjifi.

少しして 人の わい わい という 声 を 聞いて  
不多一會兒聽見人吵嚷的聲兒 (三/十 7a3)

10-12-8 genefi tuwaci.

行って 見ると  
到去一瞧<sup>98</sup> (三/十 7a4)

---

<sup>95</sup> 造業嗎：刊本は「作孽嗎」に作る。辛卯本は「造孽呢」に作る。

<sup>96</sup> 閒：刊本は「暇兒」に作る。

<sup>97</sup> 衚衕兒了：刊本は「胡同裡」に作る。辛卯本は「兒了」を欠く。

<sup>98</sup> 到去一瞧：刊本・辛卯本は「去瞧時」に作る。

- 10-12-9 ini haha jui be ciyalime.  
彼の男の子を髪を掴み  
揪着他兒子的<sup>99</sup>頭髮 (三/十 7a4)
- 10-12-10 ušaralame feššemi.  
引きずって 蹴る  
拖拉着拿脚踢呢 (三/十 7a4)
- 10-12-11 fonjici.  
聞くと  
一問<sup>100</sup> (三/十 7a4)
- 10-12-12 dule ini jui udu<sup>101</sup> laihūtu i emgi acafi.  
何と彼の子何人か与太者と一緒になり  
原來他兒子與幾個<sup>102</sup>泥腿會在一塊兒<sup>103</sup> (三/十 7a5)
- 10-12-13 sesuku maktara be.  
サイコロ 投げるのを  
擲骰子來<sup>104</sup> (三/十 7a5)
- 10-12-14 inde nambuha ni<sup>105</sup>..  
彼に見つかったか  
被他遇着了 (三/十 7a5-7b1)
- 10-13-1 haha seme banjifi.  
男として生まれて  
生成個漢子人家 (三/十 7b2)
- 10-13-2 urunakū teisu teisu baita de afanambi.  
必ずそれぞれの仕事に挑む  
必該各幹其事 (三/十 7b2)
- 10-13-3 uttu inenggi šun de.  
この様な白昼に  
這個精搭白日裡 (三/十 7b3)

---

<sup>99</sup> 的：辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>100</sup> 一問：刊本・辛卯本は「問時」に作る。

<sup>101</sup> udu：刊本はこの一語を欠く。

<sup>102</sup> 幾個：刊本はこの二字を欠く。

<sup>103</sup> 塊兒：刊本は「處」に作る。辛卯本は「兒」を欠く。

<sup>104</sup> 來：刊本はこの後に「着」を有する。

<sup>105</sup> ni：刊本は kai に作る。



- 10-13-4 *fiyotome amgame. inengi wame banjici.*  
 放屁し 眠って 日 殺して 暮せば  
 死睡消磨日月 (三/十 7b3)
- 10-13-5 *abka ainahai fatha sidarabufi ergembumbi.*  
 天 どうして 蹄 伸ばして 休ませるか  
 老天<sup>106</sup>未必教高枕無憂的樂呀 (三/十 7b4)
- 10-13-6 *uthai caliyān de ertufi.*  
 たとえ 錢糧 に 頼り  
 就說是仗着有錢糧 (三/十 7b4)
- 10-13-7 *omiholoro de isinarakū seci.*  
 餓える に 至らない としても  
 不至於挨餓 (三/十 7b5)
- 10-13-8 *inu giyan i humsun i teile hūsun bume faššaci acambi.*  
 また 道理 で 能力 の 限り 力 出して 努める べきだ  
 也該當<sup>107</sup>儘量兒的巴結出力 (三/十 7b5-8a1)
- 10-13-9 *akūci.*  
 さもなくば  
 不然 (三/十 8a1)
- 10-13-10 *enteke yokcin bakcin akū<sup>108</sup> hūman de<sup>109</sup> ejen i kesi ertun be.*  
 この様に 貧 弱 な 腕前 で 主人の 恩典 を  
 這一落兒<sup>110</sup>抽筋巴怪的嘴巴骨連靠牆兒<sup>111</sup>主子的恩典 (三/十 8a1-2)
- 10-13-11 *inu ainahai tuwakiyame mutere..*  
 また どうして 守ること できる  
 也未必保得<sup>112</sup>住 (三/十 8a2)
- 10-14-1 *šun darhūwalame mukdeke manggi.*  
 太陽 竿をかけて 昇った 後  
 日頭一杆子老高的 (三/十 8a3)

<sup>106</sup> 天：刊本はこの後に「也」を有する。

<sup>107</sup> 當：刊本はこの一字を欠く。

<sup>108</sup> akū：刊本はこの一語を欠く。

<sup>109</sup> de：五卷本はbaに作る。

<sup>110</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>111</sup> 靠牆兒：刊本はこの三字を欠く。

<sup>112</sup> 得：刊本は「的」に作る。

- 10-14-2 **teni ilimbi.**  
 やっと 起きる  
 纔起來 (三/十 8a3)
- 10-14-3 **uju ijire dere oboro inu akū.**  
 頭 梳き 顔 洗うこと も ない  
 頭也不梳臉也不洗 (三/十 8a3-4)
- 10-14-4 **emu gocikū saifi.**  
 一つ 袋 嚙んで  
 刁上個烟袋 (三/十 8a4)
- 10-14-5 **uthai bakcin adaki boode<sup>113</sup> šodonome.**  
 すぐ 正面 隣の 家に 歩き回り  
 就徃街坊<sup>114</sup>家串門子 (三/十 8a4)
- 10-14-6 **kejine bokson be manabumbi.**  
 しばらく 門檻 を 摩耗させる  
 把門檻子磨明了<sup>115</sup>多<sup>116</sup> (三/十 8a4-5)
- 10-14-7 **amasi maritala.**  
 戻って 来るまで  
 赶回來 (三/十 8a5)
- 10-14-8 **dambagu aifini mukiyehe.**  
 煙草 とつくに 消えた  
 烟早已滅了 (三/十 8a5)
- 10-14-9 **fulenggi gemu tuhehe bime.**  
 灰 みな 落ちて いて  
 灰都掉<sup>117</sup>了 (三/十 8a5-8b1)
- 10-14-10 **kemuni pos pos gocimbi.** 見對待  
 まだ ふか ふか 吸う  
 還噴兒噴兒的抽搭 (三/十 8b1)
- 10-14-11 **tere emu hacin i wa de.**  
 その 一 種 の 臭い に

---

<sup>113</sup> boode : 刊本は boo de に分綴する。

<sup>114</sup> 坊 : 刊本は「房」に作る。

<sup>115</sup> 了 : 五卷本は「子」に作る。

<sup>116</sup> 多 : 刊本・辛卯本はこの後に「少」を有する。

<sup>117</sup> 掉 : 刊本・辛卯本は「落」に作る。

那一宗氣味（三/十 8b1-2）

10-14-12 yala niyalma sengserebume bucembi.

全ての 人 窒息させられ 死ぬ

真要嗆死個人（三/十 8b2）

10-14-13 jalan i dorgi eimercukengge<sup>118</sup>.

世 の 中 で 厭うべきもの

世上的厭惡行子（三/十 8b2）

10-14-14 erei cala jai akū secina..

彼を 除き また ない というべきだ

除了他也再<sup>119</sup>没有了（三/十 8b3）

10-15-1 niyalma de emu doro yangse bi.

人 に 一つ 礼 儀 ある

人有個禮貌<sup>120</sup>（三/十 8b4）

10-15-2 ainame ainame arbušaci.

いい 加減に 行くと

若随便行去（三/十 8b4）

10-15-3 tuwara de<sup>121</sup> ehe.

見るの に 悪い

不好看（三/十 8b4-5）

10-15-4 sini ere mahala be haidarame hukšeme.

君の この 帽子 を 斜めに かぶり

你這們歪蒯着個帽子（三/十 8b5）

10-15-5 adasun be ilafime.

前襟 を まくり

裂拉着個大襟<sup>122</sup>（三/十 8b5）

10-15-6 tohon tabuhakūngge<sup>123</sup> ai demun.

釦 はめていないこと どんな 姿

不扣鈕子是什麼樣兒（三/十 9a1）

---

<sup>118</sup> eimercukengge : 刊本は eimecukengge に作る。

<sup>119</sup> 也再 : 刊本は「再也」に作る。

<sup>120</sup> 貌 : 刊本はこの後に「兒」を有する。

<sup>121</sup> tuwara de : 刊本は tuwarade に合綴する。

<sup>122</sup> 大襟 : 刊本・辛卯本は「前襟子」に作る。

<sup>123</sup> tabuhakūngge : 五卷本は dabuhakūngge に作る。

- 10-15-7 *sabu be guyelefi* 見對待 *etuci*.  
靴 を 踵を付けて 履けば  
把<sup>124</sup>鞋提上穿着 (三/十 9a1)
- 10-15-8 *bethei ici lali bime malhūsambi*.  
脚に 応じて 軽快 であり 節約になる  
随脚<sup>125</sup>利便而且省 (三/十 9a1-2)
- 10-15-9 *uttu*<sup>126</sup> *sisihai gamaci*.  
この様に 挿して 行くと  
若這們鞞拉了去 (三/十 9a2)
- 10-15-10 *piyat piyat yangšan niyalma hamirakū sere anggala*.  
ぺた ぺた 騒々しく 人 堪えられない だけでなく  
不但瓜答答瓜答答<sup>127</sup>腥影的人受不得 (三/十 9a2-3)
- 10-15-11 *inenggidari sabu i guye fehubume*<sup>128</sup> *ijurabuhai*.  
毎日 靴 の 踵 踏まれて 擦ったまま  
鞋後根終日家跣踏着揉挫 (三/十 9a3)
- 10-15-12 *goidarakū manara dabala*.  
すぐに 摩耗する だけだ  
不久<sup>129</sup>爛了罷咧 (三/十 9a4)
- 10-15-13 *ai funcembi*..  
何 残る  
剩甚<sup>130</sup>麼呢 (三/十 9a4)
- 10-16-1 *sinde giyanakū ferguwecuke oyonggo ai alban bi*.  
君に どれだけ 非凡で 重要な 何の 公務 ある  
你可能有什麼奇特要緊的差使 (三/十 9a5)
- 10-16-2 *uttu ergen akū ekšerengge*.  
この様に 命 なく 忙しいこと  
這們奔的是什麼命 (三/十 9a5-9b1)

<sup>124</sup> 把：刊本はこの一字を欠く。

<sup>125</sup> 脚：五卷本はこの一字を欠く。

<sup>126</sup> *uttu*：刊本は *uthai* に作る。

<sup>127</sup> 瓜答答瓜答答：刊本は「瓜搭瓜搭的」に作る。

<sup>128</sup> *fehubume*：刊本は *fekubume* に作る。

<sup>129</sup> 久：刊本はこの後に「就」を有する。

<sup>130</sup> 甚：刊本・辛卯本は「什」に作る。

- 10-16-3 foihori tacin.  
 いい加減な やり方  
 學輕浮事 (三/十 9b1)
- 10-16-4 ai uttu sinde ja.  
 なぜ こう 君に 容易だ  
 你怎麼這麼<sup>131</sup>快 (三/十 9b1)
- 10-16-5 manju fujuri ye kai.  
 満洲 世襲の 旦那 だぞ  
 満洲世家的爺啊<sup>132</sup> (三/十 9b1)
- 10-16-6 duwali ci tucire feniye ci colgororo be sinde inu joo.  
 同類 から 出る 群れ から 抜きん出るのは 君に また もうよい  
 也不要你<sup>133</sup>出類拔萃 (三/十 9b2)
- 10-16-7 damu gūnin be bargiyatafi.  
 ただ 心 を 整えて  
 只把心收攬着 (三/十 9b2-3)
- 10-16-8 tacici acara kicen i hacin be mutebuci.  
 学ぶ べき 務め の 類 を できれば  
 把當學的功<sup>134</sup>課弄得來 (三/十 9b3)
- 10-16-9 jai ai baire.  
 更に 何 求める  
 還望<sup>135</sup>你要什麼 (三/十 9b3-4)
- 10-16-10 ereci<sup>136</sup> yabure arbušara de.  
 これから 行 動 に  
 從此行動時<sup>137</sup> (三/十 9b4)
- 10-16-11 elhe nuhan tob tab oso..  
 安らか 穩やか きちん と せよ  
 斯文穩重着罷 (三/十 9b4)

---

<sup>131</sup> 麼：刊本は「個」に作る。辛卯本は「們」に作る。

<sup>132</sup> 啊：刊本は「呀」に作る。

<sup>133</sup> 你：刊本はこの一字を欠く。

<sup>134</sup> 功：刊本は「工」に作る。

<sup>135</sup> 望：刊本は「向」に作る。

<sup>136</sup> ereci：刊本は ere ci に分綴する。

<sup>137</sup> 時：刊本はこの一字を欠く。

- 10-17-1 giyanakū udu okson yabuha seme.  
 どれだけ 何 歩 歩いたとしても  
 能走了幾步路 (三/十 9b5)
- 10-17-2 bilha ci šanggiyan tucime.  
 喉 から 煙 出て  
 嚔子裡冒烟 (三/十 9b5)
- 10-17-3 he fa seme fahabufi.  
 はあ はあ と 投げつけ  
 一口兒跌不得<sup>138</sup>一口兒的乾喘<sup>139</sup> (三/十 9b5-10a1)
- 10-17-4 sukdun wesihun fusihūn siraburakū oho.  
 呼吸 上 下 繫げなくなった  
 上氣兒<sup>140</sup>不接下氣兒的了<sup>141</sup> (三/十 10a1)
- 10-17-5 katunjara gūnin akū ainaha.  
 我慢する 心 なく どうした  
 扎掙的心腸<sup>142</sup>怎麼沒有 (三/十 10a1-2)
- 10-17-6 dara de nimenggi akū oho.  
 腰 に 脂肪 なくなった  
 腰裡沒有<sup>143</sup>勁兒了<sup>144</sup> (三/十 10a2)
- 10-17-7 encehen hūsun mohoho.  
 能力 力 尽きた  
 能耐力量盡了 (三/十 10a2-3)
- 10-17-8 ai.  
 ああ  
 噯 (三/十 10a3)
- 10-17-9 suwende angga gaibuha.  
 君達に 口 負けた  
 望你們強不得嘴了 (三/十 10a3)

<sup>138</sup> 兒跌不得：刊本は「趕不上」に作る。

<sup>139</sup> 兒的乾喘：刊本は「的喘」に作る。辛卯本は「的」を欠く。

<sup>140</sup> 兒：刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>141</sup> 兒的了：刊本は「的了」を欠く。辛卯本は「兒的」を欠く。

<sup>142</sup> 腸：刊本はこの一字を欠く。

<sup>143</sup> 有：刊本はこの一字を欠く。

<sup>144</sup> 了：刊本はこの一字を欠く。

- 10-17-10 oyofi<sup>145</sup> baitakū ohobi.  
縮んで 無用になった  
抽抽的無用了 (三/十 10a3)
- 10-17-11 se de gocimbuha sehebe cendehengge.  
歳に 引かれたと言ったのを 悟ったこと  
年歳赶的話 (三/十 10a3-4)
- 10-17-12 enenggi tuktan..  
今日 初めて  
今日頭一遭兒<sup>146</sup>嗜着 (三/十 10a4)
- 10-18-1 guculere doro.  
交友する 道理  
交朋友的道理 (三/十 10a5)
- 10-18-2 uhe dakū haji halhūn wesihun.  
和 睦 親 近 貴い  
不分彼此的<sup>147</sup>親熟為貴 (三/十 10a5)
- 10-18-3 ci akū ta seme feliyeme sabuha mangkai<sup>148</sup>. 與 manggi 同<sup>149</sup>  
暇なく 頻繁に 往来し 会った 後で  
没遍数兒<sup>150</sup>的常來往一見了 (三/十 10a5-10b1)
- 10-18-4 keb kab<sup>151</sup> gala jafašame hajilaci.  
親密に 手 握り 親しめば  
熱熱呼呼的拉着手兒<sup>152</sup>親香 (三/十 10b1)
- 10-18-5 teni saha tuwaha doro.  
やっと 知り 見た 道理  
纔算得<sup>153</sup>知己之道<sup>154</sup> (三/十 10b1-2)

---

<sup>145</sup> oyofi : 刊本は oyoni に作る。

<sup>146</sup> 一遭兒 : 刊本は「次」に作る。

<sup>147</sup> 的 : 辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>148</sup> mangkai : 刊本は manggi に作る。

<sup>149</sup> 與 manggi 同 : 刊本はこの注を欠く。

<sup>150</sup> 兒 : 刊本・辛卯本はこの一字を欠く。

<sup>151</sup> kab : 刊本はこの一語を欠く。

<sup>152</sup> 兒 : 刊本はこの一字を欠く。

<sup>153</sup> 得 : 刊本は「是」に作る。

<sup>154</sup> 道 : 刊本はこの後に「呢」を作る。

- 10-18-6 urui gemu uju lasihime esike serebe.  
専らみな頭振って充分だと言うのを  
必定都揺<sup>155</sup>着頭兒不惹<sup>156</sup> (三/十 10b2)
- 10-18-7 we de buyembi.  
誰に求める  
誰可愿意呢 (三/十 10b2)
- 10-18-8 bi banitai mengde modo ojoro jakade.  
私性格融通がきかず不器用であるので  
我因為生來的死板拙笨 (三/十 10b3)
- 10-18-9 kemuni waka sabuburahū<sup>157</sup> seme olhome.  
常に非見られないかと恐れ  
恐怕得罪了<sup>158</sup>人 (三/十 10b3)
- 10-18-10 kundulere gūnin be yala mutere ebsihe wacihiyaha.  
敬う心を本当にできる限り尽くした  
把恭敬底<sup>159</sup>心寔在<sup>160</sup>都費盡了 (三/十 10b4)
- 10-18-11 aide feten acarakū ubiyabuha be sarkū.  
なぜ縁合わず嫌われたかを知らない  
不知道<sup>161</sup>為什麼不投縁討他嫌 (三/十 10b4-5)
- 10-18-12 fucehe<sup>162</sup> ushaha balama.  
怒り憤ったようだ  
總像<sup>163</sup>惱了的是的<sup>164</sup> (三/十 10b5)
- 10-18-13 sabuha dari.  
見る度に  
每遭<sup>165</sup>見了 (三/十 10b5)

---

<sup>155</sup> 揺：五卷本は「遙」に作る。

<sup>156</sup> 惹：辛卯本は「理」に作る。

<sup>157</sup> sabuburahū：刊本は sabubure ahū に作る。

<sup>158</sup> 了：刊本はこの一字を欠く。

<sup>159</sup> 底：刊本は「的」に作る。辛卯本は「底的」に作る。

<sup>160</sup> 寔在：刊本は「實然」に作る。

<sup>161</sup> 道：刊本はこの一字を欠く。

<sup>162</sup> fucehe：刊本は sekcehe に作る。辛卯本は funcehe に作る。

<sup>163</sup> 像：刊本は「相」に作る。辛卯本は「象」に作る。

<sup>164</sup> 的是的：刊本は「似的」に作る。



- 10-18-14 baibi amda<sup>166</sup> musihi akū mini jakade ek sembi..  
 ただ よそ よそ しく 私の 所で 厭っている  
 只是待理兒<sup>167</sup>不理兒<sup>168</sup>的不待見我 (三/十 11a1)
- 10-19-1 tere be<sup>169</sup> emgeri jongko de.  
 彼 を 一度 持ち出したら  
 一提起他來 (三/十 11a2)
- 10-19-2 si ainu dokdorilaha<sup>170</sup>.  
 君 なぜ 跳び上がった  
 你為什<sup>171</sup>麼嚇一多縮 (三/十 11a2)
- 10-19-3 ishengge sabuci ojarahū.  
 怖がったもの 見ること できない  
 懣的看不得咧<sup>172</sup> (三/十 11a2-3)
- 10-19-4 tede ai giyanakū tuttu gelecti acambi.  
 そこで 何 どれだけ その様に 恐れる べきか  
 能有什麼該那麼<sup>173</sup>怕他的<sup>174</sup> (三/十 11a3)
- 10-19-5 yakca hutu geli waka.  
 夜叉 幽霊 でも ない  
 又不是夜叉惡鬼 (三/十 11a3)
- 10-19-6 tere majige muke ašufi.  
 彼 少し 水 口に含み  
 怕他含点水兒<sup>175</sup> (三/十 11a4)

---

<sup>165</sup> 遭：刊本は「逢」に作る。

<sup>166</sup> amda：刊本は amta に作る。

<sup>167</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>168</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>169</sup> tere be：刊本は terebe に合綴する。

<sup>170</sup> dokdorilaha：刊本は dokdoritaha に作る。

<sup>171</sup> 什：辛卯本は「甚」に作る。

<sup>172</sup> 咧：刊本はこの一字を欠く。

<sup>173</sup> 麼：刊本は「們」に作る。

<sup>174</sup> 的：刊本はこの一字を欠く。

<sup>175</sup> 兒：辛卯本はこの一字を欠く。

- 10-19-7 *simbe weihun nunggirahū. aikanarahū<sup>176</sup> sembio.*  
君を 生きたまま 飲まないか どうかしないか と思うか  
把你活嚙了是怎樣的麼 (三/十 11a4)
- 10-19-8 *ergen bici sukdun bi sehebi.*  
命 あれば 息 ある と言っている  
土還有個土性兒<sup>177</sup> (三/十 11a5)
- 10-19-9 *huwekiyen de gūnin ilifi.*  
発奮 で 志 立って  
襪<sup>178</sup>着勢兒立起<sup>179</sup>志向來 (三/十 11a5)
- 10-19-10 *iseleme tuwa.*  
抵抗して 見よ  
還個繃了<sup>180</sup>看 (三/十 11a5-11b1)
- 10-19-11 *haha niyalma majige fahūn jili bici.*  
男の 人 少し 胆 氣 あれば  
漢子家畧有個胆氣 (三/十 11b1)
- 10-19-12 *inu koro<sup>181</sup> de yebe.*  
また 怨み で ました  
也爭口氣呀 (三/十 11b1)
- 10-19-13 *enteke oyomburakū bade.*  
この様な 重要でない 所に  
這樣<sup>182</sup>有要沒緊的地方 (三/十 11b2)
- 10-19-14 *hono uttu dargiya fekceme umuhun tuhefi.*  
なお この様に 頸動脈 鼓動し 足 立たず  
尚且這們脖子筋跳麻了<sup>183</sup>爪兒 (三/十 11b2)
- 10-19-15 *cici goci oho kai.*  
びく びく した のだ

<sup>176</sup> *aikanarahū* : 刊本は *ainarahū* に作る。

<sup>177</sup> 兒 : 刊本はこの後に「呢」を有する。

<sup>178</sup> 襪 : 刊本は「稱」に作る。

<sup>179</sup> 起 : 刊本はこの後に「個」を有する。

<sup>180</sup> 繃了 : 刊本は「繃子」に作る。辛卯本は「繃子」に作る。

<sup>181</sup> *koro* : 刊本は *karu* に作る。

<sup>182</sup> 様 : 刊本はこの一字を欠く。

<sup>183</sup> 了 : 刊本はこの一字を欠く。

- 縮頭縮腦<sup>184</sup>的 (三/十 11b3)
- 10-19-16 unenggi bade bihe bici ainara<sup>185</sup>..  
 本当の 所に いた ならば どうする  
 要到個四角台兒<sup>186</sup>上可怎麼樣呢 (三/十 11b3)
- 10-20-1 yasa fume ilifi.  
 眼 擦って 起きて  
 揉揉眼扒起來 (三/十 11b4)
- 10-20-2 angga gakahūn i dadarafi.  
 口 ぽっかり と 開けて  
 張着口兒 (三/十 11b4)
- 10-20-3 šame tuwame buda aliyambi.  
 眺め 見て 飯 待つ  
 眼巴巴兒的<sup>187</sup>等飯吃 (三/十 11b4-5)
- 10-20-4 inenggi šun de fayangga hemhire adali.  
 白 昼に 魂 手探りする 様  
 白日里<sup>188</sup>遊魂也似的 (三/十 11b5)
- 10-20-5 ini cisui hergime.  
 勝手に 歩き回り  
 自己個游搭 (三/十 11b5)
- 10-20-6 yamji<sup>189</sup> uju cirku de maktame.  
 晚 頭 枕 に 抛り  
 到<sup>190</sup>晚上頭往枕頭上一擲 (三/十 12a1)
- 10-20-7 uthai dangdaka.  
 すぐ 横になった  
 就挺屍咧 (三/十 12a1)
- 10-20-8 yaya dara ba akū.  
 全く 関わる 所 なく

<sup>184</sup> 腦：刊本は「惱」に作る。

<sup>185</sup> ainara：五卷本・辛卯本はこの一語を欠く。

<sup>186</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>187</sup> 眼巴巴兒的：刊本はこの一句を欠く。辛卯本は「兒」を欠く。

<sup>188</sup> 里：刊本・辛卯本は「裡」に作る。

<sup>189</sup> yamji：刊本・辛卯本はyamjifiに作る。

<sup>190</sup> 到：刊本はこの後に「了」を有する。

任事兒<sup>191</sup>不管 (三/十 12a1)

10-20-9 niyalma i<sup>192</sup> aligan<sup>193</sup> be tuwakiyara ci tulgiyen.

人 の 台座 を 守る 以 外は  
除了看着人家行事外 (三/十 12a2)

10-20-10 heni tani muten inu akū.

ほんの 僅かの 能力 も ない  
一点兒<sup>194</sup>本事也没有 (三/十 12a2)

10-20-11 boigon tede ai teisu.

家産 彼に 何の 相応  
家私他那里<sup>195</sup>配得起 (三/十 12a3)

10-20-12 abka urunakū terebe dabtambi..

天 必ず 彼に 福を施す  
老天偏肯照顧他 (三/十 12a3)

(待続)

---

<sup>191</sup> 兒：刊本はこの後に「也」を有する。

<sup>192</sup> niyalma i：刊本は niyalmai に合綴する。

<sup>193</sup> aligan：刊本は saligan に作る。

<sup>194</sup> 兒：刊本はこの一字を欠く。

<sup>195</sup> 里：刊本はこの一字を欠く。